

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
大橋 和博			

講義概要	<p>①施設養護と保育士の関係を理解し、施設養護のプロセスを考察する。          ②施設における社会的養護援助の基本を概観し、こころの援助とは何かを理解する。          ③親子関係の援助および地域・学校との関係づくりについて理解する。          ④自己実現・自立への支援について理解する。          ⑤児童福祉施設の運営管理について学び、保育士として施設で働くことについて考察する。</p>
授業計画	<p>第1回 子どもの養護と保育士（1） 今日の養護問題について理解し、保育士の役割を考える。</p> <p>第2回 子どもの養護と保育士（2） 里親制度の現状と課題を理解する。</p> <p>第3回 施設養護のプロセス 施設入所前後からアフターケアまで、施設養護における留意点について理解する。</p> <p>第4回 社会的養護施設における基本的な援助・支援 児童養護施設等社会的養護施設での援助や支援について理解する。</p> <p>第5回 障害児入所施設における基本的な援助・支援 障害児入所施設での援助や支援について理解する。</p> <p>第6回 こころの援助（1） 施設養護におけるこころの援助とは何かについて理解する。</p> <p>第7回 こころの援助（2） 施設養護におけるこころの援助について事例を通じて理解する。</p> <p>第8回 親子関係の援助 施設養護における親子関係の援助とは何か理解する。</p> <p>第9回 地域社会や学校との関係づくり 施設養護において必要な地域社会や学校との関係づくりや地域における施設の役割について理解する。</p> <p>第10回 自立支援（1） 施設養護における自立の考え方や自立支援の意味について理解する。</p> <p>第11回 自立支援（2） 施設養護における自立支援について事例を通じて理解する。</p> <p>第12回 自立支援（3） 自立支援計画の目的や策定上の留意点を理解し、自立支援計画の記載について学習する。</p> <p>第13回 児童福祉施設の運営管理 施設の運営や組織、職員について理解する。</p> <p>第14回 児童福祉施設における保育士の資質と倫理 児童福祉施設の保育士に求められる資質や倫理について理解し、バーンアウトを予防する方法について考える。</p> <p>第15回 まとめ 社会的養護について理解が深まったことをまとめレポートを提出する。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①今日の養護問題と社会的養護の実施体系を関連づけて理解できるようになる。          ②施設養護のプロセスにおける子ども支援、親支援について理解できるようになる。          ③児童福祉施設で働く援助者としての保育士について理解を深められるようになる。          ④社会的養護における市町村や地域との連携について理解できるようになる。          ⑤社会的養護の現代的課題について理解し意見を述べられるようになる。</p> <p>授業への参加意欲を評価し、後半では課題レポートをまとめることを求め、筆記試験で理解度を評価する。</p> <p>①達成目標①～④に関する理解度を筆記試験で評価する。（50%）          ②達成目標⑤はレポートの完成度により総合的に評価する。（40%）          ③参加意欲（10%）</p>
教科書・参考書	テキスト：辰己隆、岡本眞幸編『改訂 保育士をめざす人の社会的養護内容』 みらい 2013
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	社会的養護について復習・確認しながら、関連する事柄について常に関心を向けるようにしてほしい。